

平成29年10月31日

佐野市議会議長 井川克彦様

総務常任委員会委員長 久保貴洋

総務常任委員会行政視察報告書

- 1 期 日 平成29年10月4日（水）及び同月5日（木）
- 2 視察地及び視察事項
  - (1) 北海道室蘭市  
「公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について」
  - (2) 北海道留萌市<sup>るもいし</sup>  
「議会基本条例に基づく議会運営基盤の再構築について」
- 3 派遣委員 久保貴洋 委員長、慶野常夫 副委員長、若田部治彦 委員、金子保利 委員、小暮博志 委員、横井帝之 委員
- 4 随行者 議事課 議事調査係 主査 亀田昌久
- 5 視察概要 別紙のとおり

## 室蘭市視察概要

### (1) 北海道室蘭市

#### 室蘭市の概要

- ・人口 88,793人 (平成27年3月末)
- ・面積 80.88km<sup>2</sup>
- ・議員定数 22人      ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 24万円

#### 視察概要 「公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について」

##### ○内容

室蘭市では、「耐震診断結果に基づく公共施設の整備等の考え方」に基づき耐震性に課題がある施設や老朽化が著しい施設を集約し、中学校跡地に子供からお年寄りまで多世代が交流できる施設「複合交流施設」を計画しており、この事業計画について直接お聞きし、勉強することでこれからの魅力ある佐野市のまちづくりの為に視察研修を行うものであります。

##### ○所感

既に中学校の統廃合は完了しており、現在は小学校の統廃合を進めている状況であり、スクールバスの委託費用増 (年間委託料：1.6億円) が大変な状況です。また、スクールバスの運転手不足により過密運行の負担もあり、過剰労働等による交通事故も心配されていました。

廃校後の利用が決まっていない跡地がほとんどであり、今後の再利用計画を行うにあたり、時間とお金が大変かかることになると思いました。

市民ニーズ把握のために、小学生でも参加できるシールアンケート方式を採用した調査をショッピングモールで開催し、幅広い年代層の意見を集約した事はとても良いことですが、アンケートの結果、20歳代が2%と極端に低く関心が薄い事が残念であり、年代毎に均等に意見集約をとって欲しいと思いました。

この複合交流施設は、屋内遊具施設・図書館・カフェなどの計画をしており、「DBO」方式を採用することにより、民間の創意工夫やノウハウを活かし、市民サービス向上につなげ市民に楽しんでいただける施設になるものと思いました。

るもいし  
留萌市視察概要

(2) 北海道留萌市

留萌市の概要

- ・人口 22,241人 (平成28年9月)
- ・面積 297,83km<sup>2</sup>
- ・議員定数 16人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 12万円 (財政事情を考慮し、平成21～29年度は支給凍結)

視察概要 「議会基本条例に基づく議会運営基盤の再構築について」

○内容

留萌市では、議会基本条例で、議会及び議員に関する基本的な活動原則を定めることによって、議会の活性化を図り、議会が市民の負託に応え、「自治の発展」と、「市民の福祉の向上」に寄与することを、最終的な目標として定めているとの事であり、これらを視察研修として行うものです。

○所感

制定の経緯は、財政が厳しい時期があり、平成21年～27年度まで(7年間)財政健全化計画を進め、全国で例をみない職員給与の20%削減を主として財政健全化を実施し、平成28年の3月31日に終了することが出来たとのことで、大変な苦労をされたことがわかりました。

議会基本条例の素案を市民に説明することで、市内8会場で開催し、パブリックコメントを実施、最終的な案を委員会で確認し、平成26年6月に議会で全会一致により議会基本条例が可決になったとの説明がありました。これは市民から意見を募集するものであり大変良い事だと思いました。

議会基本条例を作りあげるうえで、一番大切なことは地方自治法をしっかりと認識し逸脱しないことであり、議会の最高規範として作成したものであることが改めて分かりました。

議会基本条例の市民説明会を8会場で開催した際、参加者がとても少なく一桁台で、時には2人しか集まらないことがあったとのことなので、市民にとっては関心が無いのかと思いました。国や県レベルに対し、一番身近な市議会を知ろうとする方が少なくとても残念ですが、今後は議員一人一人が支援者の皆様に議会報告等を行っていき、認知度を上げて行くことが今後の使命であると思いました。